

第29号
平成24年4月

生涯学習の窓

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門ニュース

1. 生涯学習部門受講生オープン・サロンのお知らせ

以前から、受講生の皆さまの間で「空き時間に利用できる待合室がほしい」との意見がありました。そこで、生涯学習部門2階の一室に「生涯学習部門受講生オープン・サロン」を設置しております。受講生の方であれば、どなたでも利用できます。休憩、予習・復習、他の受講生や先生方との交流の場に、大いにご活用くださいませ。また、専任教員が同サロンにて生涯学習相談をおこなっております。何かお困りのこと、ご相談したいことがありましたら、気軽にお越し下さい。

- 利用時間 平日 公開講座のある日 8:30～講座終了後20分
公開講座のない日 8:30～16:30
土曜日 公開講座開始20分前～終了後20分

* 詳細はサロンの前にあるカレンダーでご確認ください。

- 問合せ先 富山大学研究振興部社会貢献グループ地域連携チーム
Tel : 076-445-6956 Mail : lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

2. 5月開講の公開講座

平成24年5月に開講する公開講座には、以下のようなものがあります。春のさわやかな時期に新しい学びに挑戦してみませんか。多くのご参加、お待ちしております。

- 「愛を語るフランス文学3(フランス映画を楽しむ)」
- 「古注釈で読む『猿蓑』の俳句」
- 「スローフードから学ぶ ～伝えたい母の味・先人の知恵～」
- 「新聞報道で読む東アジア」
- 「最新の心肺蘇生法を学ぼう」

※これ以外にも多数の講座が開講します。

3. 平成23年度公開講座と オープン・クラス(公開授業)の実施実績

平成23年度の公開講座が無事終了いたしました。計84講座、延べ1177人の方々に受講していただきました。また、オープン・クラス(公開授業)には、前学期・後学期あわせて326名(延べ)の方が受講されました。



(公開講座の感想)

- とてもわかりやすく、楽しく学ばせていただきました。次回は、中医学、漢方薬などの理論を勉強したいと思いますので、よろしくお願いします。(日常生活における薬膳理論)
- 講座以外で中国人(留学生)と接する機会があればよい。(中国語講座)
- イタリア、フランス歌曲の講座も設けてほしい。(ドイツ歌曲)

(オープン・クラスの感想)

- 今年の受講は、快く学生が受け入れてくれ、仲間としての授業環境で、楽しく熱中した学び方、知識を増やすことができ感謝の気持ちである。
- 富大生と一緒に学ぶことができ、精神的に若返った気分で楽しく受講できた。
- 適切な指導のもとに初めての中国語をスタート出来た。毎回楽しかった。
- 実務を経験してきた者としては、知識のリニューアルに役立ったと思う。
- もっとたくさんの授業をオープンにしてほしい。

4. ヘルン文庫のお宝発見

去る平成23年12月13日(火、13:30~15:30)、富山国際会議場2F特別会議室にて、「ヘルン文庫から文化の多様性を理解する」をテーマにパネルディスカッションが開催されました。本学客員教授のマリ・クリスティーヌ氏がナビゲートし、ヘルン文庫の新しい価値について議論がかわされました。



パネラー

- ウィリアム・カリー氏（元上智大学学長、上智大学名誉教授）
- 佃 一可氏（知識資源機構代表理事、全税共文化財団理事、煎茶道文化協会代表理事）
- 鈴木 良雄氏（専門図書館協議会事務局長）
- 栗林 裕子氏（富山大学附属図書館司書）

ナビゲーター

- マリ・クリスティーマ氏（富山大学客員教授）

5. ふるさと文学県民講座

富山県と連携し、郷土の歴史や文化を再認識し、継承・発展させていくという主旨のもと、ふるさと文学県民講座が開催されました。毎回、多くの方々にご来場いただきました。

講師・テーマは以下の通りです。

	日時	講師とテーマ
1	8/6	ふるさと文学の魁「越中万葉」をよむ 小野 寛（高岡市万葉歴史館特別顧問、富山大学経営協議会委員）
2	9/3	「丸い石」—映画「おくりびと」における生と死 盛永審一郎（大学院医学薬学研究部・教授）
3	9/13	富山の女性作家・小寺菊子の生き方を読む 金子 幸代（人文学部・教授）



6. まちなかセミナー

今年も、北陸地区の4つの国立大学が連携しておこなう「まちなかセミナー」が開催されました。

■ 2011年10月8日(土) 14:00～16:30

■ テーマ「北陸の美術」

- コーディネーター 林 暁 (富山大学芸術文化学部・教授)
- 「再興九谷焼の生産と流通」佐々木 花江 (金沢大学埋蔵文化財調査センター・准教授)
- 「未生の工芸」宮崎 光二 (福井大学教育地域科学部・教授)



(受講生の感想)

- 今回の講演を金沢で聞いてみたいと思った。
- 美術と工芸に関しては、福井の研究の精神が流れていた。

(今後希望するテーマ)

- クラシック音楽に関する講演
- 加賀藩と越中金山との関係について
- 北陸3県の産業動向と将来の発展方向
- 地域に根付いている産業の今後の発展方策、歴史的意味



7. 「熟議」に参加して

大学の生涯学習系センターなどの職員が全国から集う行事「研究協議会」に参加して参りました。そこで、はじめて「熟議」というものを体験しました。熟議とは、「多くの当事者による熟慮・議論を重ね、政策形成をしていくこと」とされています。今回のテーマは「開かれた大学に、生涯学習系センターは貢献してきたか」という刺激的な内容。“大学の生涯学習サービスは地域社会にどの程度認知されているのだろうか”、“地域社会のもつ課題とかみあったサービスになっているか”、など、多くの考えさせられる議論が交わされました。同時に、同じような課題意識を持つ全国の“仲間”がいることを実感させられたのも収穫でした。

(仲嶺政光)